

# 冤罪被害者 歌で支援

## あす、中野で完成記念ライブ

フォーク歌手の小室等さん(74)らが、冤罪に苦しむ人たちを歌で応援するために制作していた「冤罪音楽プロジェクト イノセンス」のCDが完成した。16日午後7時から、中野区の「space & cafe ポレポレ坐」で完成記念ライブを聞く。これを皮切りに、全国で参加ミュージシャンによるライブを行う予定で、収益は冤罪被害者支援の活動に使われる。

完成したのは、詩人の谷川俊太郎さんが作詞し、小室さんが作曲した「真実・事実・現実 あることないこと」。約30人のミュージシャンが歌いつなぐ。16日のライブでは、谷川さんの長男で支援ソング制作の総監督を務めた賢作さん(58)、小室さんが結成した「獄友イノセンスバンド」、

## 小室等さんらCD制作

在日韓国人歌手の李政美さん(71)らが登場する。

この曲は、冤罪をテーマに映画を撮り続けている金聖雄監督(54)の最新作で「獄友」(24日公開)の主題歌。映画では、袴田事件の袴田巖さん(82)、布川事

件の桜井昌司さん(71)ら、冤罪を訴えてつなごうとした友情を描いた。2月末には、袴田さんの姉秀子さん(85)や桜井さんの妻恵子さん(65)ら家族たちが会談。秀子さんは「つらかったことを胸に秘め、笑い飛ばすこ

とが互いの思いやり」、恵子さんは「一人で冤罪を訴え続けることは本当につらい」と語り、周囲の支援の必要性を訴えた。

ライブは前売り券3000円、当日券3500円。同じ会場で4月13日、5月9日にも予定している。問い合わせはキムーンフィルム(042・316・5567)。

【荒木涼子】



①CD収録に向け、楽譜を見ながら打ち合わせをする小室等さん(右)と谷川賢作さん  
②CD制作のため、マイクを囲んで冤罪支援ソングを歌う小室さん(右)らミュージシャンたち(いずれも東京都中野区のスタジオで)

